

Director:
T. MIDZUNO
REDACCION:
Uspallata 981
U. T. 22, 7051

宜昌方面に來襲の敵機を撃墜

【中支の〇基地一日】昨三十一日午後敵コンソリデイトットビ一廿四型爆撃機九機及びロッキード・ハドソン型爆撃機五機は三十機のビー四十型戦闘機に護衛され數個の編隊を以て宜昌、沙市及び漢口に空襲を試みたものだが空軍の選撃によりその空襲企圖は失敗に終つた、また航空部隊は宜昌上空において敵と激烈なる空中戦を交へ敵戦闘機二機を撃墜、爆撃機一機に大損害を與へた、わが岳州上空においてはわが陣営は敵戦闘機二機を撃墜、爆撃機十餘機に不時着陸を餘儀なくせしめた

矢萩陸軍報道部長の放送

[illegible]

東京一日】本朝毎日新聞の人が現下日本の唯一の目的
ずるところによれば横濱高る勝利のため貢献すること

たに生きて唐因の恥辱を受けず、これを全く日本軍にして罪過の汚名を免れし武具に神速の極致を達せんとす。わが戦艦調への調へをその發揮したもので我々全國民は之に従ふことに悠久大義今後ますます仇敵を打ちてしのびに我國の魂魄と化し、たゞなんの誓を新にせずして熱田守備隊を率ひて優美なる等の無駄を廢止すべきである。敵艦に最後突撃の行爲を計畫と製作した、他方日空航空戰死に接した父君の尊名を射撃所との職工連は三日立夜航空兵會合において熱田島に薨れたん」と決意直ちに陸軍航空兵會合において熱田島に薨れた

勇士は玉碎せり

（每日新聞社說要旨）

『東京卅一日』「勇士は玉碎せり」と題する毎日新聞社説を要旨左の通り

か!! 皇軍の傳統と日本武士の名譽とは斯くの如く熱田島のが守衛隊によつて完全ニ維持され、汝後の後試みたる演說中で、日本婦

『東京卅一日』「東京女子大學と會談を遂げ本日午後北京支に於いて日支及日蒙親善会をお立て」

米國の食糧不足都市別

「ストックホルム卅一日」瑞の前に長時間列を作つたの
典説「コマンネン」最近の誌よりや入手出来る有様で
上には米國內の食糧不足状態、ボス頓市においてはり
に於て、大都市別に興味あでに馬肉が賣出されては
る記事が載つてゐる、即ち同シガゴ市では一ヶ月にわた
る記によればロサンゼルス市牛乳類と野菜類が全く市民
誌においては食料品買入難のため手に入らぬといふ、罐頭
品百軒が廢業を饑饉なさを没してまつてゐる、ニ
れ牛乳配給状態は平時の五〇％は平時の約三〇％にして
乃至七〇％を満たすにすぎず一般市民の牛乳入手はほと
んど不可能である、フイラデ

東京一日、陸軍次官富永恭一郎大佐指揮下將兵の旺盛
中將は大長の佳節に當り熱なる戰闘精神を明かにした書
守備隊・長山崎保代大佐翰を受取つた、山崎大佐は右

すべきか、否等は今後のこ
のである、我等は今立つて
閨の聲を擧げねばならない
二千數百の背後に一億の大
民衆の控へてゐることを敵
誇示しなければならぬ
勇士に報する途はそのみ
である

士達雄叫びは聽へる

山崎大佐よりの書翰

帝國海軍敵擊滅に邁進

矢野海軍報道部長の放送

【東京廿九日】大本營海軍の光頭ある傳統が、世界征覇の野望を悉く撃砕す報道部長矢野少將は廿七日率然としてそこに起つたものゝことは斷じて疑ひを容れな午後七時半から「決戦大海」であり、大東亞戰爭に於る乙いのである。世界戰局の現段軍記念日を迎へて」と題し旗である、元帥は開戦勢全階は正に今年こそは決算の年大要次の如く放送を行つた。軍に對し各員粉骨投身その任であることを痛切に感ぜしめ本日は第三十八回海軍記念日務を全部と訓示せられたのであつて、帝國は獨伊との意義深き記念日を迎へて了つたあの乙旗がロシヤ敵米英に對し國家、民族の興に當て深く偲びますのは、東亞侵略を一擊の下に粉碎廢を賸しその總力をこの一戰

は八〇六機に實に五九七機五月上旬には上陸作戰直前に達したのである、今次の米軍の熱田島上陸はその真意は北方よりする帝國本土侵襲の企圖することを実證するものであるが一瞬の油断を許さざるものがある一方南太平洋水域において彼我の航空戰は依然として行はれてゐる、三月から四月にかけては一七八回延機數の各新期紙は六月二十二日の來朝を極めては、三十一日に飛んでゐる、一方ロンド

歐洲に侵入?

【ストックホルム卅一日】スウェーデンの瑞典輿報道士は聯合會の歐洲大陸侵入戰は獨佛休戰協定成立記念に當る六月二十二日を期し行はれるであらうとの噂が

太平洋の航空決戦

廣島の巨砲を降したる帝國海軍の威を、東郷元帥以下全將兵が盡忠に實に大膽に威を戴きました。東郷元帥は赤誠と敵愾の一心に燃え、たゞ大浸没と奮戦したるのみならず、たゞ大東亞戰爭における帝國海軍の將兵はその精神の旺盛たるを夜雷艦攻撃の第一線に際して、その首軍を執られたこの一事を

日夜間斷無く展開

先づ太平洋戦局においては、今春以來日夜間斷なく激烈なる航空決戦が展開されてゐるのであつて、山本元帥が長官の重を以て親しく空の第一線に出陣作戰全般の指揮を執られたこと、この

十二日米國軍の一部兵力は有力なる水上艦艇及び航空部隊の掩護下に熱田島に上陸し、現に同島に在るわが軍は寡兵能くこれを選挙し肉弾相擦つ激戦を交へてゐるのである。(以下次號)

日商工會議所 愈よ正式解散

（東京卅一日）過去六十四回開催した日商工會議所、明日正式解散の運びとなり、工經濟聯盟といふ新組織

聯合國艦隊に合流

「スポニヅ一日」ロンドン 萬二千噸の戰艦一隻、一萬噸
英國發表によれば一九級甲巡、九千九百噸級甲
乙、六千フランス戰艦以て、九千五百噸級甲
乙にわたりアレキサン 巡一隻、二千五百噸級乙
ア軍港に逃避中のフラシ 艇六隻、潜水艦二隻である
艦十七隻は、過般北阿
主格ゴローより右佛艦統
ゴッドフロイ少將に對し
國海軍に合流方德連中の
今回これが交渉成立の
確約中の十七隻を擧げて
發的のに聯合國海軍に合
はれたとなつたといはれ
るに、多數驅逐艦の一隊が何れ
に同つてか出港した、右佛艦十七隻の内譯は二

獨逸東亞銀行
「東京廿一日」日獨通商增
のため獨逸東亞銀行は明日
京にてその支店を開設は現
になつた、同支店長には現
上海の獨逸銀行副支配人ボ
ル・ウイチン博士がなる
様で獨逸東亞銀行の創設に
り單に日獨通商のみならず
東亞全域の通商も促進せら
るものと期待されてゐる

在亞日本人會青年部

東・西
南・北

▲【マツカサル
卅一日】六月一
日當地に原住民
商工學校が開校

大東亞戰勃發以來、心
れてをりました生活に懈

御願ひ

、當婦人部では少しで
した御方のためにと考

上海でも「ある」
 上海市の「ある」
 電信事務開始式は本日午
 中、支電信會社
 所々で、それぞ
 れの期に行は
 れる
 となつた
 比島にお
 ける、
 色、
 結果、
 委員
 たる、
 各、
 左記、
 寄贈、
 在、
 ねば、
 助、
 下、

ため皆様の御支援を切

銀行の開業を許可したが、銀行の開設は明日から開始さ
るべく、なつた
東京市「一日」都下一新聞
とあるところにより、都下は抗
て留置せられた印度人の
の、まだ敵は八百磅
の、現在を、四十六萬五千
さい
尙詳細は事務所にお問合
五月二十六日

日會婦人

同胞各位

東洋軒

ペンテンコ・デ・ヤ
五三三階 電話 三
一九二二

◎純日本料理並びに井
御宴會にも應じます

した年度歳入歳出豫算案を
四年度、それによれば歳
算案總額は十五億五千百
萬四千五百八十四圓であ
る。

院議員エンリケ・ロッ
：ル氏は三十一日下院に
提出、國防委員會創設法
を以て構成する海空各軍
置の急務を主張してゐる
同會役員會においては、
附屬救濟會は去る二十
名實共に公館から日會に
移讓されることに決定、
改正、基金募集など、今
活動方針等はこれを幹部
任することに決定した。

◆日會青年部主催第四回
大會は別項廣告の通り來
十七日より開始すること
となつたが、今回は硬球に
よつたが、今回は硬球によ
つたが、今回は硬球によ
つたが、今回は硬球によ

求人
花卉業に經驗
青年一名至急
委細面談
（姓名在）

第四回 青年部主催野球大會

試合開始
六月二十七日(第四日曜) 協和園にお
迎(選手は非職員) 午前十時より
開戦
選手は非職員)とも参加し、但し非
員参加の場合は各自堂費別納のこと
七回戦(五回を經過し兩軍の差十點以上
の場合はコールド・ゲームとす、但し勝
戦にはコールド・ゲームなし
硬球
審判選出山内輝彦氏、各チームより二名(一
名審判を提出し他チームの審判をなす)
一チームに付投擲、試合當日迄に納入の
優勝チーム優勝旗(持廻り)及青年部メダ
ル
第二位チーム青年部事務宛申込のこ
六月二十日まで

本人會青年部

御願ひ

大東亞戰物發以來、心毒な家庭が出来たに概て段々耳に致す様になり、當婦人部では少しして、御方のためにと考りましたのが先日委員にて色々協議の結果、聞いて控へたる今日必須に類であると思ひます。物に御願ひして左記の持ち手の方から寄贈して當な方法でこれを配布と思ひます。

御五ひに助け合はねば

ため皆様の御支援を切

品種別 衣服類、靴
人、子供何れにても
て結構です）
締切期日 六月末日
申込或は届先日會事
詳細は事務所にお問合
五月二十六日

日會婦人

東洋軒
ベントシンコ・デ・マ
五三二(三階) 電話 二三
九三三

◎純日本料理並びに井
御宴會にも應じます

人 花弁業に経験
青年一名至急
〔姓名在
詳細面談
議されることに決定、今
止、基金募集方法、今
動方針等はこれを幹部
方針に決定した
日會青年部主催第四回
會は別項廣告の通り來
七日より開始するこ
台が、今回は硬球によ
合を行ふことになつた
は六月二十日まで

